

50th

ANNIVERSARY



青山外苑前
ものがたり

青山・外苑前商店会50周年記念誌



青山・外苑前商店街振興組合

創立50周年を迎えて 5
 青山外苑前商店街振興組合理事長 小林敬三
 創立50周年に寄せて 6
 港区長 原田敬美

次世代を育む 7
 青山外苑前商店街振興組合相談役 鈴木常吉

青山今昔物語 8
 青山外苑前商店会50年の歩み

地元小学生に聞きました！ 13
 ぼくらの未来、私たちの街

50周年記念対談 16
 青山に暮らす。外苑前を語る。

岡本太郎記念館館長 岡本敏子
 青山外苑前商店街振興組合理事長 小林敬三

「青山外苑前商店街の未来予想図」座談会 19
 ものがたり まちがたり

メンバーズマップ 20

メンバーズリスト 22

編集後記 25
 2003年度役員・歴代正副会長

森を守り、木を育てる

青山という地名は、徳川家康の重臣、青山忠成が屋敷地として一帯を拝領したことに由来します。その縁により、幕末まで美濃部郡郡上藩をおさめた青山家の菩提寺「梅窓院」が外苑前にあるのです。このような歴史を理解して、青山で暮らし、学び、働く人々の連帯感を深め、心の通うあたたかい街をつくること。それが私たち青山外苑前商店会の願いです。

江戸に始まる屋敷町青山に、商店街らしきものが生まれたのは路面電車が開通した頃。それから太平洋戦争をはさむ激動・荒廃の時代を経て、昭和26年「青山四丁目商店会」が発足します。その後、「外苑前商店会」という名称に変更し、都心型商店街として発展するとともに、平成5年には法人化して現在の「青山外苑前商店街振興組合」になりました。このたび私たちは、商店会発足50周年および商店街振興組合設立10周年を迎え、ここで生活し商売する喜びをあらためて感じています。そして、今後も多種多様な木（人や店）を育て、訪れる人が絶えない、華やかで美しく魅力的な森（青山）を守っていききたい、そのように考えています。



青山外苑前商店街振興組合 理事長 小林敬三

青山外苑前商店会 創立50周年 青山外苑前商店街振興組合 設立10周年を迎えて

Greeting

本年、創立50周年記念を迎えるにあたり、戦後の復興期にその組織を興され、今その礎を築かれた諸先輩に対して、深く感謝申し上げます。

顧みますと、青山は大きな街の変化を背負ってまいりました。第一は昭和39年の東京オリンピックによる、大規模な区画整理にあったこと、街としての機能が整うまで前後10年ほどかかり、さらに、地下鉄半蔵門線の工事、さらに共同構など工事につぐ工事でお客様を安心してお迎えする状態ではありませんでした。第二は昭和60年には、世に言われるバブル経済となり、また転出する店舗やビルの再開発が続いてまいりました。昭和57年に第7代の会長に任命されて、平成4年に創立40周年を迎え、記念事業として、皆様に親しまれる、通りのネーミングを公募し、「スタジアム通り」「熊野通り」「ポチポチ通り」と命名されました。

更に、会の一層の充実と発展を期して、商店街振興組合として法人格に設立いたしました。都市型の商店街として商店のみならず、ここに位置する企業各社の参加も得て街の活性化事業に取り組んでまいりました。その一例がかねてより念願であった、地下鉄外苑前駅の改良工事促進の運動でした。初期の念願書にさらに署名運動を経て、平成12年に完成

をみたのです。

今、だれも予期しなかったような経済状況の中にいます。デフレ経済、個人消費不況、政府の無策とも言える不良債権処理等により、企業破綻は増える一方です。

体質的に弱い弱小商店、中小企業はいつも、その犠牲に晒されています。これからは、なお一層の組織の強化が必要であり、港区商連さらに東京都商店街連合会の実行力をもって、法改正や補助金等の運動を強化すべきでしょう。これは、他人がしてくれるのではなく、各々が抱えている問題として進んで取り組んでいきたい。

経済も街も幾多の激しい変化を経て50年、当商店街の創立以来の「和と協の精神に基づいて活動する」その理念を忘れず、次へのステップとしたい。外苑前商店街が青山地域の発展を担うべく、いつそこの団結と自己開発に努める契機と思えます。

ここに、創立50周年、振興組合設立10周年を迎えるにあたり、会員の皆様と慶びを分かちと共に、今日まで組織に尽くされた先輩諸氏及び役員、会員各位のご協力に対して、重ねて深甚の感謝を申し上げます。誠に有難うございました。

祝辞

青山外苑前商店街振興組合 創立50周年に寄せて

港区長 原田敬美



青山外苑前商店街振興組合の、記念すべき創立50周年おめでとございます。また、このような素晴らしい記念誌を発売されましたことは、誠に意義深く、心よりお祝い申し上げます。

青山外苑前商店街振興組合は、日本で最初の地下鉄「銀座線 外苑前駅」を中心とし、戦後の混乱期を経て、復興の兆しが見え始めた昭和26年に青山四丁目商店街として、誕生されました。

青山の街は、この50年で大きく変貌し、発展してきました。これは、50年にわたってこの街の発展にご尽力されてきた青山外苑前商店街振興組合の皆様のご努力の賜物です。

昭和39年の東京オリンピック開催を機に、青山通りは道幅40メートルと拡張され、つきつきとビルが建築され、街並みは大きく変わりました。道路拡張計画に伴う商店の転出や会員の廃業、バブルの崩壊など、幾多の時代の荒波を、会員の皆様の結束力と行動力により乗り越えられ、国際的な情報発信の街、ブランドの街、青山の都市型商店街として大きく発展されました。

青山外苑前商店街振興組合40周年記念事業として、ネーミングされました「スタジアム通り」「熊野通り」「ボチボチ通り」は、全国から青山を訪れる皆様に、親しまれています。

また、青山の町名の由来となっている、徳川家康の重臣、八幡城主青山忠成公の江戸城入城400年を記念して平成6年から始められた「郡上おどりIN青山」は、毎年多くの方で賑わう、港区を代表する恒例行事となっています。世界の最先端を行く「青山」と歴史にあふれた街「郡上八幡」とのふるさと交流は、まさに最高の取り合わせであり、二つの街の発展に大いに意義のあることと思います。

「青山ビカ美化」などのクリーンキャンペーンは、きれいな商店街づくり、魅力的な街づくりを目指しご努力される姿に共感するとともに、とても心強く感じています。

日頃の皆様のご尽力に対しまして、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

港区としましても、商店街の皆様が安心して仕事に取り組めますよう環境整備に努めてまいりますとともに、青山の街がより一層よい街になるよう、青山外苑前商店街振興組合の皆様と連携を深め、活力あるコミュニティづくりのため、これからも努力してまいります。今後とも変わらぬご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、青山外苑前商店街振興組合の今後のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご繁栄を心からお祈り申し上げます。

次世代を育む

青山外苑前商店街振興組合 相談役 鈴木常吉



我が街の顔と言ふべき外苑前商店街が誕生して半世紀を迎えられたことは、慶びにたえません。

敗戦のショックがまだぬぐいきれない昭和26年、点在する店舗（その多くはバラック建てでありましたが）に呼びかけて商店会を創立された先輩諸氏のご苦勞に対し、あらためて心から満腔の敬意と感謝を申し上げます。

創立当時のことを思い出しますと、商店街が発足して現在に至るあいだ、青山・外苑前の変貌は目覚ましいものがあります。

とりわけ昭和39年の東京オリンピックの開催を機に青山通りの拡幅整備が行われ、それによりいくつかの有名店や老舗、慣れ親しんできた住宅街が姿を消しました。

その跡に高層化したビルが建ち、街の様相も商店会の業種構成も大きく変わっていきました。かくいう私どもの店も道路の拡幅により後方へと移築、改築を重ねて現在に至っております。

会員の皆様も同じようなご苦勞を経験されて今日に及び、

時流と共に変遷するお客様の意向にこたえるべく店舗を新装し、経営の近代化に努めてこられました。

また、商店会と町会が協力し、地下鉄駅の改善を促す陳情を行うなど、より良い街づくりにかける熱意には並々ならぬものがありました。ほか、会員有志による「希望会」では、旅行など各種レジャーを通して親睦を深めました。

その結果、青山・外苑前は大変に美しく、かつモダンな街となり、一方で郡上踊りなど地域振興に大きな足跡を残すことができたわけです。しかしながら、21世紀を迎えた今、お客様を大切に作る良き伝統を継承つづ、さらなる創意工夫が求められています。

50周年を節目として、小林理事長を中心に会員の皆様によりいっそうの団結と協力のもと、時流に負けない自助努力と次世代の街づくりに率先して取り組まれ、青山外苑前商店街振興組合がますますご発展されることをご期待申し上げます。お祝いの言葉といたします。

青山今昔物語

青山外苑前商店会50年の歩み

青山外苑前商店会の沿革

昭和26年（1951年）
梅窓院泰平観音堂の落慶式に合わせて、地下鉄外苑前駅を中心とした青山通りを挟み、青山南町4丁目、北町4丁目の商店が共同売出しを催し、成果を収める。これを契機として商店会の組織が作られた。

昭和27年（1952年）
青山4丁目商店会が発足、初代会長、野口嘉一（野口薬局）。

昭和36年（1961年）
第三代会長、川崎一雄。東京オリンピックのため青山通り拡張計画が決定され、商店の転出や廃業の会員が出る事態となる。やがて40m幅の青山通りは相応しくビル建築が目立つ様になり39年の東京オリンピックを控えた街づくりとなった。



昭和30年代後半の磯美屋の皆さん。南青山2丁目の店頭から外苑前交差点にレンズを向けてパチリ。



南北青山2丁目町会が主催の神輿（昭和38年・39年頃）。熊野神社の秋祭りは今も外苑・青山通りの風物詩。



左は、AYビル建設中の昭和37頃。まだキラー通りもベルコムズもない。右は、やはり東京オリンピック前、昭和38年頃の外苑前交差点。

昭和41年（1966年）
町名変更となり住居表示にあわせて「外苑前商店会」と改名する。

昭和45年（1970年）
青山通りが地下鉄工事、共同溝工事と続き、青山砂漠といわれた。

昭和53年（1978年）
青山の街並みも大型ビルの建築も一段階となり、全国的に注目の街となる。会の名称も「青山外苑前商店会」と改名し、青山を強調する。

昭和56年（1981年）
第六代会長、坂本泰久。創立30周年記念式典を開催する。

昭和57年（1982年）
第七代会長に小林敬三就任する。



青山1丁目から表参道までの商店会が一体となって催される青山まつり。参加各店はワゴンセールを行って全体の雰囲気を盛り上げる。



昭和46年頃の青山通り。大きなカーブで外苑前と一目でわかる。まだ低い建物があるため、広々としている。



拡幅工事・区画整理した直後の青山通り。街路樹はこの時に植えられた。

年代
世相

1950
昭和26年

1960
昭和30年

●昭和26年（1951年）
500円札発行。民間ラジオ放送開始。国産初のLPレコード発売。第1回NHK紅白歌合戦。
●昭和27年（1952年）
GHQが廃止、日本の主権が回復。
●昭和28年（1953年）
白黒テレビ発売、テレビ放送開始。街頭テレビが大盛況。
●昭和34年（1959年）
皇太子・正田美智子さま御成婚。



●昭和36年（1961年）
ソ連、初の有人宇宙飛行に成功。ベルリンの壁築かれる。日本は岩戸景気。
●昭和39年（1964年）
東京オリンピック開催。



●昭和45年（1970年）
「人類の進歩と調和」をテーマに、大阪で日本万国博覧会が開催される。

●昭和53年（1978年）
成田空港（新東京国際空港）開港。男女とも平均寿命世界一。

●昭和56年（1981年）
神戸ポートアイランド博覧会開催。福井謙一氏にノーベル化学賞。

●昭和57年（1982年）
ホテルニュージャパン火災事故。500円硬貨発行。テレフォンカードを発行。

平成元年(1989年)

小林敬三会長、青山商店会連合会理事長就任。退任まで4期務める。

平成4年(1992年) 6月

第七代会長 小林敬三、創立40周年記念式典を青山ベルコムズにて開催。菅谷真一港区長はじめ青山、赤坂地区会長ら来賓多数の出席を得て盛大に催された。40周年記念として、道路のネーミングを公募して「スタジアム通り」「熊野通り」「ボチボチ通り」が決定、公的にも認知された。



外苑前の旧・吉川買店をのぞむ。このあと、BMWスクエアが建ち、外苑前交差点の新しいランドマークになる。



発足40周年を記念して、公募してネーミングを決定した3つの通りそれぞれにプレートを設置。道案内としても活躍している。



外苑前交差点に立つ街頭時計。昭和57年、南北青山2丁目町会が寄贈。街の道標として親しまれている。

平成5年

平成5年(1993年) 7月
振興組合として認可され、「青山外苑前商店街振興組合」として新たに発足する。港区57商店会のうち第5番目の法人格となる。菅谷真一港区長はじめ多くの来賓の出席を得て設立式典を開催した。



神宮球場を本拠地にするスワローズとは長い付き合い。優勝記念の各種イベントだけでなく、毎年プロ野球開幕に合わせて、スワローズのシーズン初ホームラン選手を当てるクイズを実施している。



毎年みどりの日の前日に開催される「花の市」は「街に緑を、心に花」をキャッチフレーズにして花の小鉢を特売、数時間で完売するほど人気がある。同時に春のクリーンキャンペーン実施。

1990
平成元年

●平成元年(1989年)
昭和天皇崩御。消費税導入。ベルリンの壁崩壊。

●平成4年(1992年)
ブラジルで地球サミット。約180カ国が参加。
バルセロナ五輪開催、日本はメダル22個。日本人初の宇宙士、毛利衛氏が宇宙へ。



●平成5年(1993年)

皇太子・雅子さま御成婚。細川連立政権発足。サッカーJリーグ開幕。レインボーブリッジ開通。北海道南西沖地震。



平成6年(1994年) 10月

「ふるさと交流」につき、「青山」地名の由来に基づき、郡上八幡町と協力し青山家菩提寺の梅窓院境内にて第一回「郡上おどりIN青山」として郡上おどり大会を開催し、近隣各地より多数の参加者で賑わった。青山まつりのパレードに大名行列も大変な話題となり、郡上八幡との交流は会場難にも合いながら年々盛大に継続されている。



平成6年は郡上八幡城主・青山家が青山に居を構えて400年という節目。それを記念して青山まつりのパレードに大名行列で参加。徳川家康の譜代重臣、青山忠成に菅谷真一港区長(当時)が扮するなど、青山と言う街の歴史を伝えた。



●平成6年(1994年)
円レイト、戦後初の100円突破。自社さで村山政権誕生。関西国際空港が開港。大江健三郎にノーベル文学賞。リレハンメル冬期オリンピック開催、スキー複合団体の日本チームが金メダル。茶髪ブーム。就職氷河期が流行語に。

平成7年8月(1995年) かねてより陳情してきた(昭和60年)地下鉄外苑前改良工事が決定、8年4月より12年完成予定の工期で実現することとなった。工事に関わる地元対策委員長に小林理事長が指名された。

平成10年(1998年) マルチメディア部開設、インターネットの研究を東商港支部の講習会に出席 5月22日 振興組合結成5周年記念式典青山ベルコモンズにて開催。菅谷真一港区長をはじめ多数の来賓の出席を得て、組合各社の交流と結束を深めた。



発足45周年を機に商店会のマークを新しくした。それにともない、会旗も世代交替。



平成6年より毎年、郡上おどりIN青山を開催。日本三大おどりを本場の雰囲気でも気軽に楽しめる。また、同時に開催される郡上郡各地の物産展も好評で来場者に人気がある。

平成11年(1999年) インターネット、ホームページを開設する。

平成12年4月(2000年)

外苑駅前リニューアルオープン。記念ポスター、ポケットティッシュを配布する。駅構内に加盟店の地図と有志広告看板を設置する。デビット、クレジットカードシステムについて検討する。

平成13年5月(2001年)

小林理事長 港区商店街連合会 会長に就任する。現在に至る。



年代

世相

平成10年

●平成7年(1995年) 戦後50年。阪神淡路大地震。地下鉄サリン事件。新交通システムゆりかもめ開業。ウインドウズ95ブーム。官官接待、金融破綻等が問題に。

●平成10年(1998年) 長野冬期オリンピック開催、日本は金メダル5個をはじめ史上最高の成績。サッカーのワールドカップ大会に日本初出場。郵便番号7桁制実施。世界最長のつり橋、明石海峡大橋が開通。

●平成11年(1999年) NTTドコモ「iモード」開始。

●平成12年(2000年) 沖縄サミット開催。2千円札発行。三宅島の雄山噴火。有珠山噴火。白川英樹氏にノーベル物理学賞。シドニー夏季オリンピック開催。柔道女子の田村亮子さん、女子マラソンで高橋尚子さんに金メダル。皇太后さま御逝去。

●平成13年(2001年) アメリカ中核同時多発テロ。国内初の狂牛病確認。サッカーくじ販売開始。敬宮愛子さま御誕生。野依良治氏にノーベル化学賞。

地元小学生に聞きました!

ぼくらの未来、私たちの街

商店会の50周年に際して、これからの地域を担う青山小学校の児童たちが「未来の青山」をテーマに絵を描き、「ふるさと青山」への思いを短冊にしたためてくれました。

ここで紹介するのはほんの一部ですが、平成15年6月16日〜7月4日まで青山外苑前郵便局ロビーに全作品を展示、期間中ほほえみが絶えませんでした。

ぼくらの思う青山は、科学がすすんで

ロボットがいっぱいいる青山がいいです。

青山小学校3年1組 小林 仁

未来の青山はしぜんがいっぱいあって

森や野原にかこまれている青山がいいなあ。

青山小学校3年1組 吉澤 亜門

ゴミが一つも落ちていなくて、緑がたくさんある。

国際交流が多く、人と人が助け合う青山。

青山小学校6年1組 和田 静

ゴミが落ちていなくて、みんながリサイクルに

協力して、木や花がたくさんさいている町。

青山小学校6年1組 奥本 彩子

もっと緑があって、かんこうにやって来た人の心が

思わず休まるような所になるといいな。

青山小学校5年1組 前橋本 莉奈

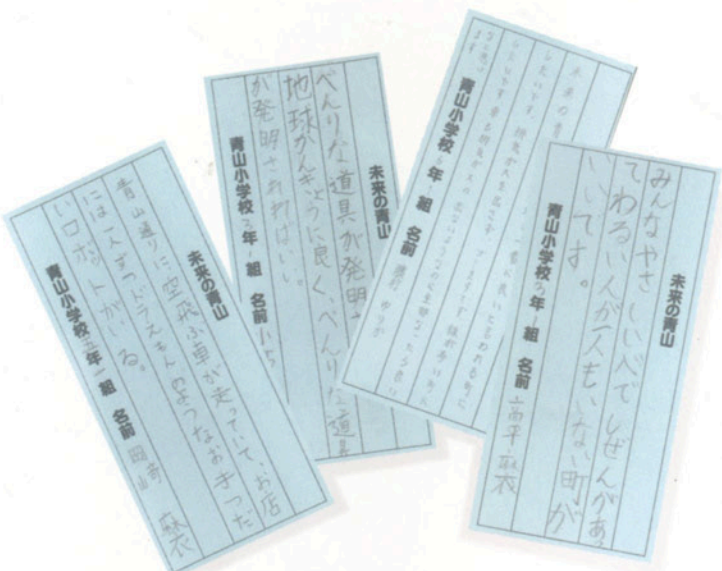
☆パリアフリーがじゅうじゅうしていて、

行きたい場所までレポートできる青山。

青山小学校5年1組 岩田 朋子

かがやいているまち

青山小学校1年1組 かた みきえ



未来の青山が、環境が一番に良いと言われる町にしたいです。排気ガスを出さず、

ゴミをすてず、緑が多い町にしたいです。

車も排気ガスの出ないようなのに全部になったら

良いなと思います。

青山小学校6年1組 藤村 ゆりか

みんなやさしい心でしぜんがあって

わるい人が一人もない町がいいです。

青山小学校3年1組 高平 麻衣

青山通りに、空飛ぶ車が走っていて、

お店には1人ずつドラえもんのような

お手つだいロボットがいる。

青山小学校5年1組 岡崎 麻衣

べんりな道具が発明されて、

地球かんきょうに良く、

べんりな道具が発明されればいい。

青山小学校3年1組 小高 祐輝

みんなが協力している青山、

みんなが楽しむ青山。

青山小学校6年1組 中野 あんり

元気で仲良くくらせるまち。

元気があいつをする事ができるまち。

青山小学校6年1組 入山 栄徳

すくすく成長するまち

すくすく成長するまち

青山小学校1年1組 いしかわ るこ

にぎやかなまち

青山小学校1年1組 わたなべ あんな

公園がたくさんふえて事故がなくなる。

緑もたくさんふえる。リサイクルをする。

平和なドラエモンがいる。

青山小学校4年1組 猪瀬 春奈

小さなアーティストの大きな夢



「青山通り 宇宙ステーション化プロジェクト」青山小学校5年 小池 俊



「みらいの青山」青山小学校3年 渡辺 樹里亜



「ロケットのある青山」青山小学校3年 古澤亜門



「青山ロケット通り」青山小学校5年 前田 隼吾



「青山通り雲のまち」青山小学校3年 坂本 ゆみ



「緑がいっぱいで楽しくあそべる青山通り」青山小学校2年 谷橋 夢子

街づくりの重要テーマの一つに「教育」があります。街の未来を担う子供たちに、誇りを持ってもらえる「ふるさと青山」を創っていくにはどうしたらよいのでしょうか。私たち青山外苑前商店街では、街に対する子供たちの夢を募集しました。未来の青山をつくるっていくのは、青山に住む子供たちです。子供たちには子供たちの夢があり、その夢は大人の私たちには想像もつかないような楽しいものでした。

応募作品には青山通りが数多く描かれ、街のシンボルとして、自分たちの生活ステージとして捉えていることがよくわかります。また、絵のモチーフとしては、ロケットなどの乗物や街路樹などの緑が目立ち、21世紀の重大テーマをしっかりと感じとっていました。

街づくりは現在の利益だけを考えるのではなく、次世代に引き継いでいくもの。子供たちの夢を実現するためには何をすればよいのか。子供たちが今から街づくりに積極的に参加できる仕組みづくりをどうするか。それらが私たち大人に課せられた宿題なのです。



写真・村林 潤（青山外苑前商店会振興組合）

50周年記念対談

青山に暮らす。
外苑前を語る。

【岡本太郎記念館館長 岡本敏子さん】

【青山外苑前商店街振興組合理事長 小林敬三さん】



昭和28年以来、不世出の芸術家・岡本太郎氏と共に青山に暮らし、街を見続けてきた岡本敏子さん。太郎氏がお亡くなりになったあとも青山にとどまり、芸術とこの街を愛してやまない敏子さんをお招きし、青山・外苑前についてお話をうかがいました。聞き役は、青山外苑前商店会振興組合 小林敬三理事長。

お屋敷町の頃の記憶
青山通りとオリンピック

小林 うちは昭和5年、私の父が長者丸通りに創業した橋屋京染店が始まりです。ちょうど宇野千代さんのお宅があったところのあたり、今の南青山3丁目。私はそこで生まれ育ちました。以来、小さな移転はあるものの、青山から出たことはありません。岡本太郎さんも青山生まれの青山育ちですね。

岡本 ええ。太郎さんはバリ時代と戦後まもなくの仮住まいを除けば、生涯青山で暮らしました。

小林 最初から高樹町ですか？

岡本 太郎さんのご両親、二平さんとかの子さんの家があったのは今の紀ノ国屋の裏あたり。青山の中で幾つか引越していますが、最後は高樹町。一家がヨーロッパに行くまで、そこで暮らしています。戦後は高樹町。

小林 そうすると、青山でも西側にゆかりがあるわけですね。
岡本 ところが、外苑前にもゆかりがあるの。実は、かの子さんは赤坂青山南町の生まれです。かの子さんは旧姓大貫、江戸時代から続く玉川の大店（おおだな）大和屋のお嬢様でした。その大貫家の別邸が今の南青山2丁目にあつて、かの子さんは4歳まで暮らしています。

小林 そうでしたか。2丁目というところに外苑前ですね。私は昭和8年生まれですが、物心ついた頃、昭和10年代もまだ青山はお屋敷ばかりの街でした。そもそも父が青山で開業したのは屋敷町だったからです。

岡本 中でも表参道の浅野家は本当に大きくて、子供の頃の太郎さんは「浅野の森」と呼んでたそうよ。その時代には、善光寺の前に油屋さんがあつて、いつも店番のおばあさんが、ちよんんと座つて、たらりたらりと油をすくつて売つてたらしいの。そういう街だったのね、むかしの青山は。

小林 そうなんです。私たち外苑前商店会の前身、青山四丁目商店会が発足したのは戦後まもなくの昭和26年ですが、その頃もまだ至るところに風情が残つてました。

岡本 今、岡本太郎記念館になつている建物できたのは昭和28年ですから、商店会の発足とはほぼ同じ頃ですね。わたくしが

太郎さんのもとで仕事を始めたのが昭和23年。まだ高樹町通りにチンチン電車が走っていました。

小林 ええ、青山の交通といえば路面電車、都電でしたね。三宅坂、青山4丁目を結ぶ都電が開通したのが明治37年。それから青山に住む人の足として重宝しました。

岡本 なくなったのはいつ頃でした？ やはり東京オリンピックの前かしら。

小林 皆さんそうおっしゃるんですが、実際に廃止されたのは昭和43年なんです。

岡本 あら、東京オリンピックの後なのね。

小林 東京オリンピックのために青山通りが拡幅されて、大掛かりな区画整理がありましたから、皆さんその印象がたいへん強いんです。

岡本 本場にそんなのね。青山の街並みは東京オリンピックを機にずいぶん変わりましたから。

小林 青山通りが拡幅されるまでは、梅窓院の街頭テレビに人々が殺到したり、盆踊りで盛り上がり、青山通りをはさんだ南北の交流が今よりも盛んでした。ところが、拡幅による区画整理で多くの商店や住宅が移転することになり、一方でどんどん新しいビルが建設されました。かく言う私の店も、当時は今のベルコムズあたりにあつたのが、区画整理で外苑前に移ることになりました。

岡本 区画整理のお話をまとめるのに当時はたいへんご苦労があつたとお聞きしています。

小林 おっしゃる通りです。それぞれに経営事情も家族構成も違いますし、商店会にとっては死活問題でした。ですから、当時反対運動が起つたのは無理ありません。

岡本 皆さん、二国二城の主ですからね。

街は住む人たちがつくるもの

青山外苑前の文化や魅力は自分たちで

岡本 先だって、街づくりに関するシンポジウムに出席して、いろいろな調査報告を聞いていたら、道玄坂の風俗業が青山通りを上つてきつつあるそうよ。

「青山外苑前商店街の未来予想図」座談会

青山外苑前商店街の青年部を中心に若手10名が、20年後の青山外苑前を想像し、語り合った。



小林敏夫



猪瀬昭博



側瀬康弘



坂本 力



三輪 勉

★携帯端末で店検索 (iモード) がもっと進化している

携帯電話が進化して、腕時計型・ペンダント型・メガネ内蔵式と携帯に便利になり、そのうえ画面も見やすくなっているし、テレビ携帯電話があたりまえ。タウンガイドも携帯端末から取り出せて、雑誌よりリアルタイムの情報提供が可能になっている。たとえば、今日のおすすめ料理・サービス品など。

★商店街の案内所設立

商店街事務所が交番みたいな案内所を設置して、地元青山の情報を提供する。早い話が案内所。しかも人間ではなく、ロボットが案内してくれる。青山をタウンガイドロボットが二足歩行していて、道を開ける。そして、商店街に加盟していないと、案内できないため加盟店が増える。

★青山の美化

ゴミ収集がなくなり、地下にゴミダクトができ、リサイクル工場に直結。青山のイメージとして「きれいな街・犯罪のない街」になっている。市民パトロールが実施され、治安が維持されている。

★青山通りが桜並木になっている

車は無公害車、自動制御になり、排ガス・渋滞・事故がなくなる。地下に駐車スペースができ、地下に首都高速網が完備。地上は歩行者優先の道になる。

★子供が住み続けられる青山

自分たちの息子・娘たちが家業を継げるか?今の状態だと自分で家業を営むより、貸ビル業の方が多くなるのではない不安。

★大きなショッピングモールの中に商店街

巨大モールが青山に完成し、東京の情報発信基地になっている。職住が充実した街。

★個性的な商店が生き残れる

各商店が自店の顧客をしっかりつかんでいけば、大丈夫。一過性の流行で行列ができて、本当の顧客にはなりにくいし、かえって今までのお得意様が離れてしまう。固定ファンはなくなり、値段が個性かて今以上に商店は評価される。いわゆる老舗などはなくなっている。

★インターネットにバーチャル「商店街」ができています

パソコンが進化して簡単操作、キーボードがなくなる。テレビに内蔵、画面を見てその場で注文、テレビ電話で対面販売。テレビから匂いが出てくるし、感触も味わえる。

★神宮球場が新しく天井開閉式の球場になっている

ドームより気候のよい時は空の下で野球観戦。また、エネルギーを有効利用して地下には人工スキー場がある。

★飲食に関して…

20年後、すべての食物摂取方法がチューブによるものとなり、自分たちの嗜好、健康状態に応じて選べるようになり(天ぷら味のチューブ、そば味のチューブ、お豆味のチューブ、お茶味のチューブ…)店舗を持たずにこれらを販売する。なんてもうNASAあたりでは当たり前ですが…

最後に-----どんなに機会が優秀で進化しても、人々を結びつけるキーワードは「やさしさと思いやり」と考える。

出席者/猪瀬昭博、太田垣宏司、側瀬康弘、小林敏夫、坂本 力、鈴木章司、鈴木大輔、高津健一、三輪 勉、横田尚彦



鈴木大輔



太田垣宏司



鈴木章司



横田尚彦

20年後どれだけ
実現しているか、
当たっているか、楽しみ!
20年後へ
タイムカプセル

ものがたり まちがたり

青山外苑前商店街振興組合は、平成14年9月27日、青山メトロ会館で「50周年の思い出展」を開催。旧青山四丁目をこよなく愛し、商店会の発展に尽くされた大先輩たち、鈴木常吉さん、工藤清太さん、飯田きよさんらを招いて、街の思い出や商店会の伝統についてお話を聞いた。

戦後の荒廃からいくぶん復興の兆しが見られるようになり、物資統制が緩和され、将来へ向けて各商店が少しずつ希望を取り戻してきた昭和26年春、梅窓院に安置する泰平観世音堂の楽慶式が催される。この時、地元の有志が相談して、式のお祝いをかねて大々的な共同売出しを行った。青山南四丁目、青山北四丁目の商店がもれなく参加したこともあり、大きな成功を収める。これがきっかけとなって商店会が生まれ、その初代会長に野口嘉一氏が選ばれた。それから梅窓院の境内で行う共同売出しが恒例となり、櫓を中心にした盆踊り、アコーディオンの生演奏によるノド自慢、福引抽選会など次々とヒット企画が生まれ、いつも大勢の人でにぎわった。鈴木常吉

さんによれば、盆踊りの櫓の上で太鼓を叩いたり、スピーチしたり、集まった町内の人たちにモチをまいたりしたそうだ。工藤さんは「売出しに旅行会…とにかく活気があって、みんな威勢が良かった」と語る。このようにして、商店会は各店舗に元気を与え、街の発展に寄与していく。

当時はまだ青山は赤坂区であり、ヤッチャバ(青果市場)もあったという。また、青山通りに街路灯が設置されたのも、この時期の出来事である。

野口会長が三期務めたあと、第二代会長に平塚勇雄氏が選出される。この頃に、商店会は全店、看板のフチにネオン(電飾)を取り付け、街に花を添えた。

つづく第三代会長は川崎一雄氏。ちょうど東京オリンピックの前にあたる。青山通りの拡幅が決定し、区画整理による会員店の転出や廃業などの対策に、当時の役員は腐心したという。

青山通りの拡幅は商店会に大きな影響を与えたが、その一方では地下鉄の拡充が進み、井戸が涸れるなど、人々の生活もオリンピックを境に大きく変わっていく。そんな中、第四代会

長に田中幸一氏が選ばれ、卓球やボウリングなどの大会が盛んとなり、野球チームは港区で優勝した。

そして昭和40年代、猪瀬久平氏が第五代会長を務めた頃は、商店会にとって最も苦しい時代だったのかもしれない。青山通りの拡幅で店舗が散らばってしまい、また高度成長期の人手不足から、本命である売出しが先細りになった。

しかし、空地が多かった北青山にベルコムズができ、サンクレストができると、街も整い、商店会にも活気が戻ってくる。この頃、第六代会長に坂本泰久氏が就任し、設立30周年記念を祝った。

そして第七代会長に小林敏三氏が就任、設立40周年を迎えと共に、商店街振興組合(法人)として新たなスタートをきる。



鈴木常吉さん



工藤清太さん



飯田きよさん



岡本敏子 (おかもととしこ)

1926年千葉県出身。財団法人 岡本太郎記念芸術振興財団 理事長、岡本太郎記念館 館長。48年、岡本太郎氏の秘書となり、以来氏の死去まで50年間、あらゆる創作活動に立ち会い、取材に同行、口述筆記をもって氏の執筆を助ける。現在は養女。代表的な著書は「岡本太郎に乾杯」(新潮社)。今年、岡本太郎氏の言葉をまとめた「強く生きる言葉」(イーストプレス)を上梓。

小林 それはゆゆしき事態ですね。私たちはすぐ隣りで、赤坂の粋が失われた経緯を見ているから、そこから街づくりにとって大切なものを学ばなくてはなりません。岡本 赤坂：昔は三味線の音色がどこからともなく聞こえてきて、婀娜なおねえさんたちが歩いてた街でした。小林 たしかに青山は文教地区として守られている部分もあり、他力本願ではなく、ここで暮らす自分たちが率先して街を守っていく使命を意識しないといけません。青山も終戦直後はパチンコ店がありましたから、他力本願ではいづつどうなるかわからないのです。岡本 その点、外苑前は小林さんたちの商店会のような組織があつて活躍していらつしやる。小林 商店会と言いますと、皆さんは共同セールばかりをイメージされますが、外苑前商店会の場合、発足当初から街づくりを強く意識しています。そもそも戦後まもなく、梅窓院の泰平観音を安置するお堂を復活させようという動きから始まった組織なんです。当時の先輩たちは街のために力を尽くそうとする意識がたいへん強く、盆踊りを主催して盛り上げたり、本当に熱心でした。その伝統が今も生きています。岡本 青山にはそういうところがありますね。高樹町も節分に獅子舞がめぐり歩いて豆まきをしてくれたり、毎年楽しみにしているの。外からは見えにくいけど、暮らしの中の良き伝統を伝えていこうとする姿勢があるのね。小林 もちろん、ファッションに代表されるハイカラなイメージ、流行の最先端でありつづけることも大切だと思いますが、青山は人々が暮らし、心が通じ合う街でもあるんです。岡本 青山って山の手だけけど、ちよつと下町っぽいところがありますよね。小林 私が思うには、下町というよりも江戸じゃないでしょうか。義理と人情を大切に人柄と言いますか、心意気ですね。そういうものがまだ残っているんだと思います。奇しくも今年には江戸開府400年にあたるわけですが、識者

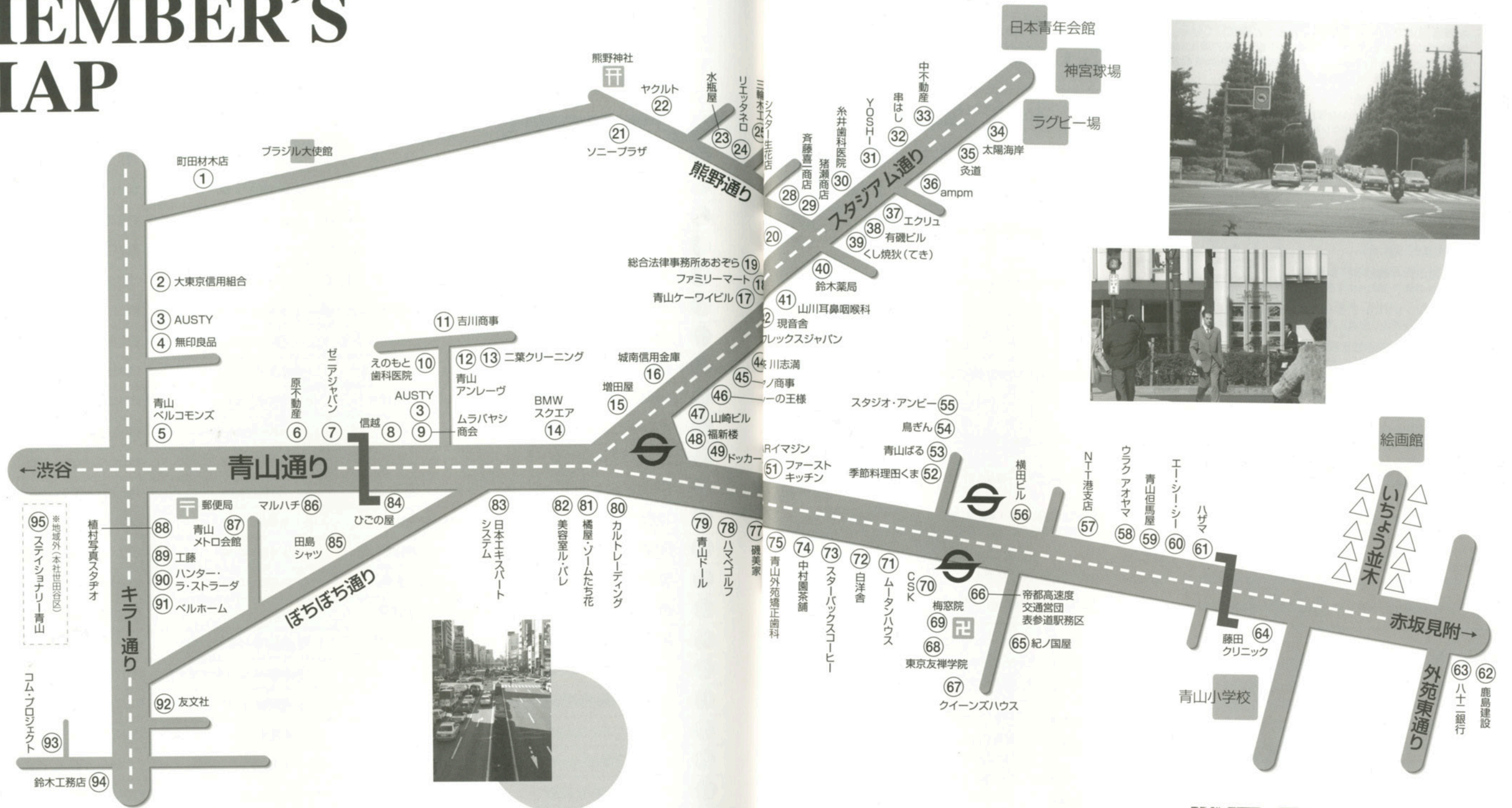
の講演をお聞きしたり、自分でも青山の街の由来を調べたりしていると、江戸の街づくりの素晴らしさを実感することが多いんです。岡本 そうねえ、おつしやる通りかもしれない。たぶん江戸や明治に始まる昔の町名はどれも味のある言葉で、高樹町、霞町、弁町、材木町：みんな歴史を伝えてくれる良い名前だったの。お役所はどうして変えちゃったのかしら。小林 便宜でしょうね。町名はもうどうしようもないことですが、私たちはこれからの青山についてもっともっと真剣に考えて、より良い街にしていかなければなりません。岡本 青山に暮らす自分たちの希望や信念をはっきり言っていきたいと思います。わたくしでしたら、ファッションの街もいろいろと、消費中心の街になつていくのはどうかと思うの。トレンドを追いかけるといのは常に半歩遅れの行動なのね、そうではなくて、自分たちが何かを創り出して全国や世界に発信していくことが大切。そして、その下には住んでいる人たちの生活がなくなっちゃいけないと思うの。基層に暮らしがないと街は生命と魅力を失いますから。そこに住む人たちがいて、ふつうにフラフラ歩いているのがいいの。そういうのが街の匂いを醸し出してくれるし、パリが何故いまだに魅力的な街かといえは、そこに人々の暮らしがあるからなのね。小林 そして、パリをはじめとするヨーロッパの街は個人商店に力がありますよね。今をときめくスーパーブランドも元は個人商店です。岡本 ある意味、ヨーロッパの人たちは強情なのね(笑)。でも、それが文化や芸術にとつて一番大切なことなのよ。小林 私たちもヨーロッパの人たちに学んで、もっと強情になりましょう(笑)。岡本 そうそう、住んでいる人たちが信念を持って街を創っていないと、外の人たちのために街はあるんじゃないもの。小林 やはり街は住んでいる人がつくるものだからね。何か最後に大きな励ましをいただいたような気がします。今日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。



小林敏三 (こばやし けいぞう)

1933年東京青山生まれの青山育ち。港区南青山2丁目にある創業73年の呉服屋「橋屋」の二代目、代表取締役。82年より青山外苑前商店街振興組合 理事長に就任。89年より97年まで青山商店会連合会 理事長。01年より港区商店街連合会 理事長、現在に至る。

MEMBER'S MAP



MEMBER'S LIST

No.	会社・商店名	業種	住所	電話	代表者
32	串はし	飲食業			
33	中不動産	不動産業			
34	太陽海岸	レストラン			
35	炙道	焼肉店			
36	am pm外苑前店	コンビニエンスストア			
37	青山有磯ビル	貸ビル			
38	くし焼 狄(てき)	飲食業			
39	エクリュ	美容業			
40	鈴木薬局	薬局			
41	山川耳鼻咽喉科	診療所			
42	現音舎	音楽・ラジオ番組企画制作録音			
43	フレックス・ジャパン	パソコンショップ			
44	喫茶 川志満	喫茶店			
45	コヤノ商事	不動産業			
46	カレーの王様	カレーショップ			
47	山崎ビル	ビル賃貸業			
48	福新楼	飲食業			
49	ドッカーズ	(衣)小売			
50	BARイマジン	飲食業・バー			
51	ファーストキッチン	飲食業			
52	季節料理 田くま	飲食業			
53	青山ぱる	飲食業			
54	鳥ぎん	飲食業			
55	スタジオ アンビー	会話教室・貸スタジオ			
56	横田ビル	ビル賃貸業			
57	NTT港支店	電気通信サービス業			
58	ウラクアオヤマ	会員制の総合クラブ			
59	青山但馬屋	豆菓子製造・販売			
60	エー・シー・シー	コピー・印刷・イベント業務			
61	ハザマ	建設業			
62	鹿島建設	建設業			
63	八十二銀行	金融業			
64	藤田クリニック	医療			
65	紀ノ国屋	青果物食品卸小売			
66	帝都高速度交通営団 表参道駅務区	営団地下鉄			
67	クィーンズハウス	貸しビル業			

No.	会社・商店名	業種	住所	電話	代表者
1	町田材木店	貸ビル業			
2	大東京信用組合	金融業			
3	AUSTY	旅行業ウエディング・ドレス販売			
4	無印良品	家庭用品衣料品・食料品販売			
5	青山ベルcommons	ショッピングセンター商店会			
6	原不動産	不動産業			
7	ゼニア・ジャパン	紳士服輸入卸小売			
8	信越	立喰そば店			
9	ムラバヤシ商会	写真DPE			
10	えのもと歯科医院	歯科			
11	吉川商事	質屋			
12	青山アンレーヴ	飲食業			
13	二葉クリーニング	クリーニング業			
14	BMWスクエア	BMW車販売			
15	増田屋	日本そば			
16	城南信用金庫	金融業			
17	青山ケーワイビル	貸ビル業			
18	ファミリーマート	コンビニエンスストア			
19	総合法律事務所あおぞら	弁護士			
20	日酒販	酒類総合卸			
21	ソニープラザ	輸入雑貨小売業			
22	ヤクルト	販売			
23	水瓶屋	飲食業			
24	リエッタネロ	飲食・物販業			
25	三輪木工	木工業			
26	ドゥリエール	喫茶			
27	シスター生花店	生花小売			
28	斉藤喜一商店	燃料商			
29	猪瀬商店	酒類・飲料水・食品販売			
30	糸井歯科医院	歯科			
31	YOSHI	飲食業			

2003年度役員

理事長	小林敬三
副理事長	猪瀬良重、鈴木常夫 川崎安平、村林 潤
総務部	部長/鈴木 清 横田尚彦、伊藤祥司
渉外部	部長/安念慶一
環境交通部	部長/側瀬康弘 猪瀬昭広、坂本 力
福利厚生部	部長/田島伸浩 田中政司
IT事業部	部長/川崎安平 鈴木健一、小林敏夫、 猪瀬宏之、鈴木章治、 鈴木大輔
会計経理部	部長/村林 潤 三輪 勉
監 事	川島郁夫、鈴木建之

歴代正副会長

- 昭和26年(1951)
初代 会長/野口嘉一
副会長/茅原 正、川崎一生
- 2期 会長/野口嘉一
副会長/川崎一生、猪瀬久平
- 3期 会長/野口嘉一
副会長/加藤千代吉、平塚市郎
- 昭和31年(1956)
2代 会長/平塚勇雄
副会長/宮沢武治、河合義太郎
- 昭和35年(1960)
3代 会長/川崎一生
副会長/猪瀬久平、鈴木常吉
- 昭和39年(1964)
4代 会長/田中幸一
副会長/坂本泰久、小林敬三
- 昭和45年(1970)
5代 会長/猪瀬久平
副会長/田中幸一、小林敬三
- 昭和53年(1978)
6代 会長/坂本泰久、
副会長/田中幸一、小林敬三
- 昭和57年(1982)～
7代 会長/小林敬三
副会長/猪瀬良重、鈴木常夫

編集後記

■戦後の混乱期に創立された「青山四丁目商店会」も名称を「青山外苑前商店街振興組合」と改め、50周年を迎えることができました。これも先輩たちの遺訓を守り、幾多の混乱や難題を乗り越え、今日に至りました。ここに記念誌の発刊にあたりご祝辞を頂いた皆様、また広告掲載で御協力を賜った商社各位に心より厚く御礼を申し上げます。記念誌の中には、創立以来実施してきた事業や行事の記事や写真、そして会員名簿を記載いたしましたので、参考までに御覧なうていただければ幸いです。このような時期に、式典を催すことができました、これを基に発展し続ける青山の今後を会員一丸となつて担って行かれることを願っております。(鈴木常夫)

■江戸開府400年、商店街創立50年と云う節目に記念誌編集に携わり、旧い時代をじっくりと顧みることが出来ました。それにしても、50年はおろか、最近の変わり様の早さには驚くばかりです。これからは外苑前の街は、ますます変化していくことでしょう。出来ることなら、100周年を祝っているその日に、空の上からでも見てみたいものです。(村木 潤)

■今回の編集に携わり、街が進化するエネルギーの凄まじさに圧倒されました。一瞬で飲み込まれてしまいうようなエネルギーですが、上手に利用すれば素晴らしい力になってくれるはずですが、だからこそ未来を夢見る子供たちに「我が街青山、我が街外苑前」の誇りをバトンタッチしていきたいと思っています。(三輪 勉)

■我々の取り巻く環境は、景気の低迷、居住者の減少と高齢化、新しい企業の進出と変化しています。50周年を迎えられたことは、二商店として二つの誇りです。人も街も健康な地域社会になるよう努力したいと思っています。(側瀬康弘)

■今回の記念誌に携わり、オリンピックを境に青山の町が大きく変貌を遂げたのが実感できました。さらに、この10数年で当時の建物がほとんど無くなり、新たな青山になった事を、当事者として見ていながら今更ながら驚愕しています。将来の青山を想像するのは困難な事と思いますが、それでも青山で生まれ育った自分が、今後どんなに青山が変わったとしても「やはり青山の住人で居たい」とあらためて強く思いました。(坂本 力)



青山・外苑前商店会50周年記念誌 青山外苑前ものがたり 50th Anniversary

平成15年7月11日発行

発行人 青山外苑前商店街振興組合
理事長 小林敬三
東京都港区南青山2丁目26番36号4階 電話03-3401-5298
編集人 50周年記念事業実行委員会
委員長 鈴木常夫
委員 村林 潤・三輪 勉・側瀬康弘・坂本 力

No.	会社・商店名	業 種	住 所	電 話	代 表 者
68	東京友禅学院	友禅染教室			
69	梅窓院	寺院			
70	CSK	情報サービス業			
71	ムータンハウス	テディベア専門店			
72	白洋舎	クリーニング			
73	スターバックスコーヒー	コーヒー関連商品販売			
74	中村園茶舗	茶小売業			
75	青山外苑矯正歯科	矯正歯科			
76	川崎商店	畳・内装工事			
77	磯美家	飲食業			
78	ハマベゴルフ	ゴルフショップ			
79	青山ドール	アクセサリ小物			
80	カルトレーディング	ウェディング用品			
81	橘屋・ズームたち花	呉服・婦人服			
82	美容室ル・パレ	美容院			
83	日本エキスパートシステム	各種情報処理開発			
84	ひごの屋	飲食業			
85	田島シャツ	オーダーワイシャツ			
86	丸八真綿	寝装・寝具販売			
87	青山メトロ会館	飲食業			
88	植村写真スタジオ	写真業			
89	工藤	不動産貸付			
90	ハンター・ラ・ストラダ	イタリアンレストラン			
91	ベルホーム	不動産建物管理			
92	友文社	不動産・出版			
93	鈴木工務店	建設業			
94	コム・プロジェクト	企画			
95	ステイショナリー青山	文具販売			